～男女がともに活躍する社会の実現を目指して～
県からのお知らせ編

令和６年度 千葉県男女共同参画推進事業所表彰
受賞事業所　取組紹介②

千葉県知事賞　大和（だいわ）リース株式会社千葉支店

事業概要	規格建築事業、 流通建築リース事業 等
設　　立	昭和２２年（１９４７年）
代　　表	支店長　宮川　聖
所 在 地	千葉市中央区弁天１－５－１
従業員数	７２名 ※令和６年６月１日時点

動画でも紹介しています▼

～受賞事業所の優れた取組を紹介します～

○「子ども参観日」を活用し、産休・育休中も職場の同僚と交流

親の働く姿を子どもに見てもらうため、全社的に取り組んでいる「ＤＬファミリーデー(子ども参観日) 」。千葉支店では独自に、産休・育休中の従業員にも参加を促しています。職場から離れ孤独になりがちな従業員にとって、仲間とのふれあいは最高の気分転換に。また、スムーズに復職してもらうための情報交換に役立っています。参観日にはオフィス内で着ぐるみを着て子どもたちと接したり、千葉公園に出かけてボール遊びをしたりと、すべての従業員にとって非日常を楽しむ機会にもなっています。

全社的に取り組んでいる「DL ファミリーデー(子ども参観日)」。千葉支店では、産休・育休中の従業員に参加を促している。

○若手従業員を中心とした「職場改善委員会」による働きやすい職場づくり

若手従業員が主体となっている「職場改善委員会」。従業員みんなが何でも言い合える職場づくりを目指している。

宮川支店長の「部署間の垣根を超えて何でも言い合える職場にしたい」「みんなの力で日本一楽しい支店にしたい」という想いから、若手従業員（男性５名＋女性５名）が主体となった「千葉支店職場改善委員会」を発足。従業員間のコミュニケーションを活性化させるためのフリーアドレス*、職場の雰囲気をやわらげる有線放送による BGM の導入なども、同委員会の発案によるものです。さらには、役職や経歴にかかわらずお互いを「さん付け」で呼ぶ運動にも取り組み、風通しのいい職場づくりに努めています。

＊オフィス内に決められた席がなく、自由に場所を選んで仕事をする制度

○「女性特有の身体や体調」の課題を職場全体で理解し、サポート

女性特有の身体や体調の課題について、職場全体で理解しサポートする体制を整えています。たとえば、2022 年に生理休暇を「M 休暇*」へ改称し、より申請しやすい環境を構築しました。とくに千葉支店は、女性管理職が初めて配置された部署があったこともあり、直近２年間で、申請者数が大幅に増えています。また、部門長が男性の場合は、女性リーダーが申請を仲介するといった配慮も。申請への心理的ハードルをさらに下げるとともに、すべての女性従業員へ女性特有の健康課題について相談しやすい環境を提供しています。

＊生理を意味する Menstruation の頭文字

生理休暇の名称を改めるとともに、女性リーダーが申請を仲介することで従業員の心理的ハードルを下げている。

©千葉県